

# 地域公共交通確保維持改善事業について

## 1. 概要

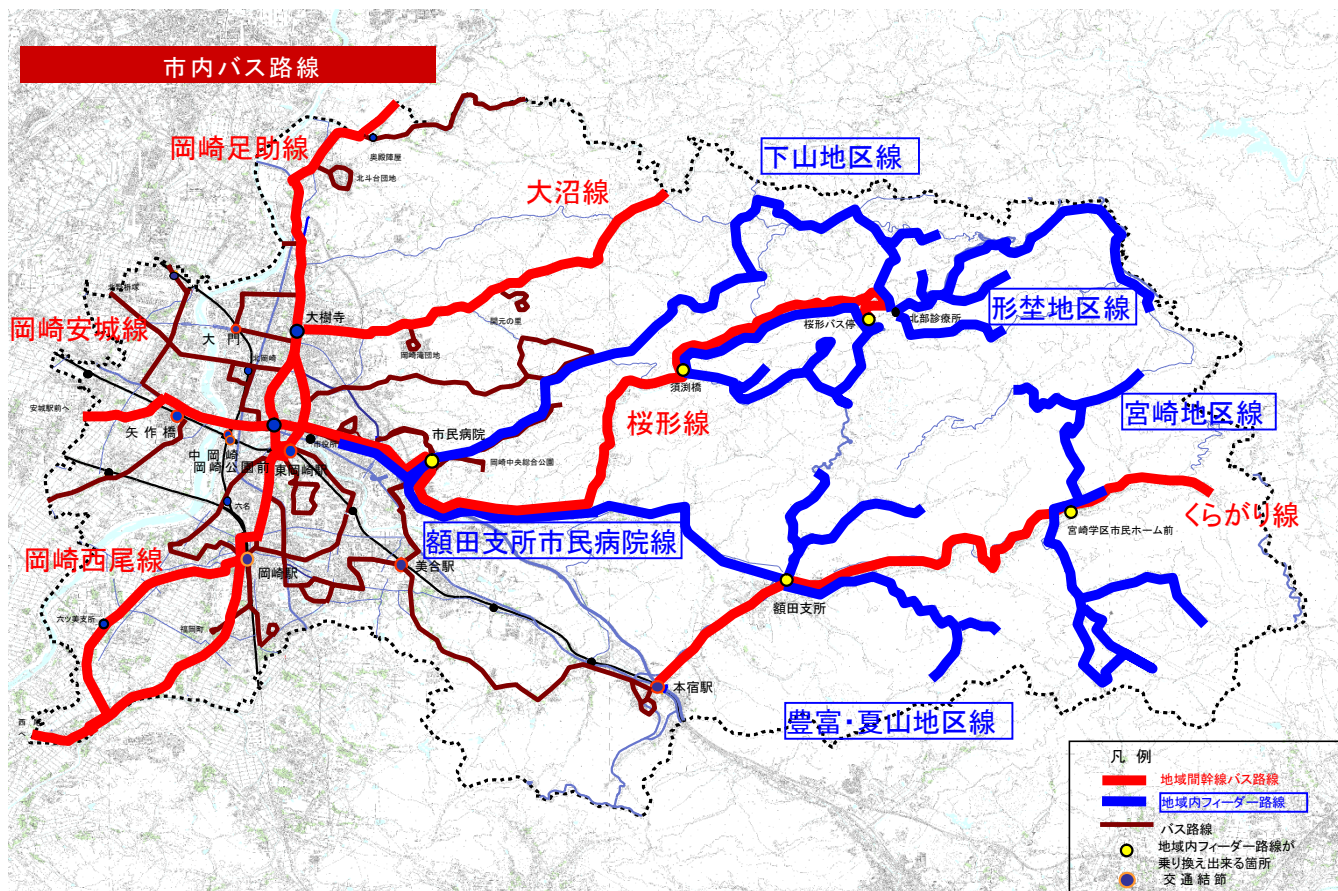
生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段が提供され、地域公共交通の確保・維持・改善に関する事業をいい、国がその事業に対して支援をするものです。

この事業支援には、幹線バス等の地域間交通ネットワークの支援と、当該幹線と接続する地域内のバス交通・デマンド交通の運行についての支援(地域内フィーダー系統補助)があります。本市が策定するのは地域内フィーダー系統にかかる確保維持改善計画です。

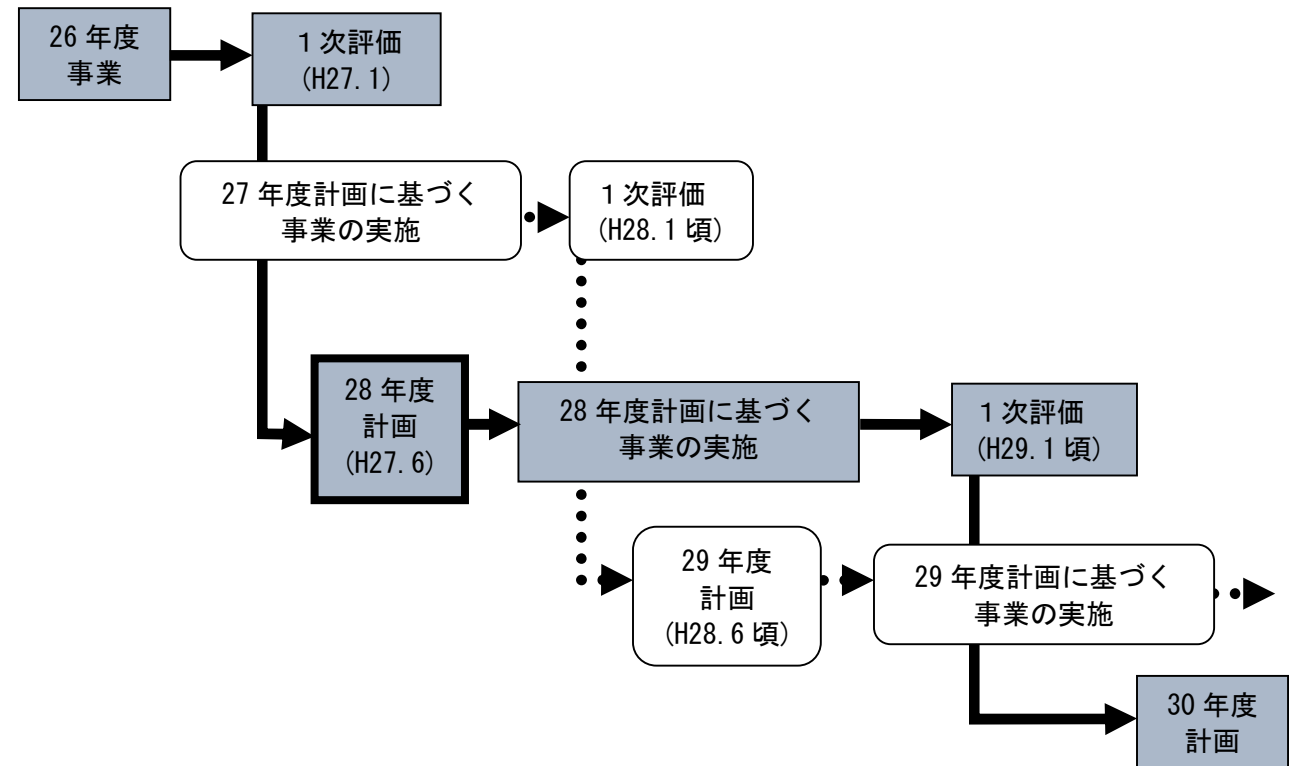
## 2. 対象路線及び補助対象事業

地域公共交通確保維持事業の区分	補助対象事業	補助対象路線	生活交通確保維持改善計画の策定主体
地域間幹線系統確保維持事業	地域をまたがる幹線バス交通ネットワークの確保維持事業	大沼線、岡崎西尾線、岡崎足助線、岡崎安城線、桜形線、くらがり線	県バス対策協議会
地域内フィーダー系統確保維持事業	地域をまたがる幹線交通ネットワークと接続される地域内交通の確保維持事業	額田支所市民病院線、下山地区線、形埜地区線、宮崎地区線、豊富・夏山地区線	岡崎市 (岡崎市交通政策会議にて協議)

【対象路線図】



## 3. 地域内フィーダー系統確保維持事業の流れ



※ 参考資料(平成28年度生活交通確保維持改善計画のポイント)

### (1) 平成28年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 申請額(運行期間 H27.10~H28.9)

路線名	補助金申請額
額田支所市民病院線	2,124,000 円
下山地区線	1,365,000 円
形埜地区線	532,000 円
宮崎地区線	502,000 円
豊富・夏山地区線	161,000 円
合計	4,684,000 円

### (2) 26年度事業実施の1次評価で出した課題点及び今後の改善点

#### 課題点

- ・住民意見の聴取に努めたものの、利用者実態及び利用意向の把握が不十分な面があった。

#### 今後の改善点

- ・運行に関するチラシの各戸配布等、地域住民と協働で新運行の周知を図っていく。
- ・地域住民と協働で住民意見を聴取し、利用促進策を図っていく。

### (3) 1次評価に対する2次評価結果

市街地、郊外、中山間部と多様な市域を抱えるなかで、鉄道や基幹バス路線、地域交通路線などにより公共交通網を整備のうえ、地域住民の要望把握、情報提供のほかバス事業者と定期的な会議を開催するなど、利用促進に向けた改善に努めている。